

☑ SIB事業スキーム構築に係る主な検討項目（案）

資料3

開催予定	主な項目	主な論点	
第1回 [H27.12.4]	SIB活用可能性	SIBが馴染む分野か？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ターゲット・目標設定 ▶ 義務的経費のコスト削減 ▶ 成果の数値化・可視化
第2回 [H27.12.25]	具体的事業スキームの構築	協力プレイヤーは存在するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中間支援組織（コーディネーター） ▶ 実施主体（社会福祉法人の参画） ▶ 評価機関 ▶ 投資家（財源確保）
		対象者の範囲は？規模は？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 郡部（府管轄）、郡部＋近隣市 ▶ 協力市を公募
		行政はどのように関わるのか？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業スキームの制度設計全般 ▶ 大阪における生活困窮者の実態把握 ▶ 既存事業（就労支援関連）との整理
		成果指標はどのように設定し評価するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 適正な成果指標の設定 ▶ 事業評価（社会的便益の取扱い等）
第3回 [H27.2 中旬]	行政コストの算定	行政コストをどのように算定するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 行政コストの範囲 ▶ 成果指標と行政コストの整合性（社会的便益との関係等）
		成果指標達成に対する投資家への支払い方法は？	▶ 事業成果に応じた支払い契約や複数年度にわたる予算運用の可能性（国との調整）
第4回 [H27.3 中旬]	報告書とりまとめ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 生活困窮者を取り巻く現状・課題 ▶ 現行施策の概要・実績 ▶ SIB活用事例の整理(国内外) ▶ 大阪府におけるSIB活用可能性の検証（課題、社会福祉法人の参画手法等） ▶ SIBを活用した大阪独自の生活困窮者自立支援システム（就労支援）の提案 など 		